

令和3年度 授業改善推進プラン 成果と課題

担当教科（理科） 学年（1）

目指す授業

探究的な活動を充実させ、見通しをもって実験・観察を行い、自分の考えを深められたと生徒が実感できる授業を目指す。



授業・アンケート等の課題分析

- 授業のねらいの提示、授業の振り返る場面があるという項目では、あまり当てはまらないと1～2名が回答している。（回答18名中）授業の振り返る場面で、授業のねらいを意識した振り返りを意識していく。
- 学び合う活動を通して、自分の考えを広げられているとほとんどの生徒が回答している。



成果と課題

成果

- 実験・観察を班活動で行ったときは、役割分担を決め、責任をもって取り組むことができた。
- ワークシートや実験・観察プリントの感想などから、生徒のつまづきを把握し、次回の授業での補足説明などに活用し、フィードバックを繰り返した。

課題

- 既習事項の定着をはかるため、学習内容と関連づけたり、復習の時間を確保する。
- 学習分野によって、関心や学習内容の定着に大きな差が見られた。スモールステップを繰り返すことで、「わかった」「できた」と実感できるよう工夫していく。
- わかりやすく人に説明する場を多く設定するなど、「学び合い」を通して、理解を深められるように工夫していく。
- 積極的にICTを活用し、今まで以上に実験結果をわかりやすくまとめ、分析する力を付けていく。

令和3年度 授業改善推進プラン 成果と課題

担当教科（理科） 学年（2）

目指す授業

探究的な活動を充実させ、見通しをもって実験・観察を行い、自分の考えを深められたと生徒が実感できる授業を目指す。



授業・アンケート等の課題分析

自分の考えを書いたり、発表する機会が与えられたりする、学び合う活動を通して、自分の考えを広げられているという項目で、ほとんどの生徒が当てはまる・まあまあ当てはまると回答している。一方で、「学ぶ楽しさを感じる」という項目では、あまり当てはまらない・当てはまらぬと4名が回答している。（回答22人中）



成果と課題

成果

- 実験・観察では、班の中で役割分担を決め、各自が責任をもって実験に取り組むことができた。
- 積極的にICTを活用してフィールドワークや実験・観察結果をすばやく共有することができた。そのため、分析する時間を今まで以上に確保することができた。
- ワークシートや実験・観察プリントの感想などから、生徒のつまづきを把握し、次回の授業での補足説明などに活用し、フィードバックを繰り返した。
- 毎回の実験・観察レポートでは、必ず結果・わかったこと（考察）・感想を記入し、それに対する指導を2年間継続して行ってきた。その結果、ほとんどの生徒がきちんと記入し、提出することが定着してきた。

課題

- スモールステップを繰り返すことで、「わかった」「できた」と実感できるよう工夫し、学ぶ楽しさにつなげていく。

令和3年度 授業改善推進プラン 成果と課題

担当教科（理科） 学年（3）

目指す授業

探究的な活動を充実させ、見通しをもって実験・観察を行い、自分の考えを深められたと生徒が実感できる授業を目指す。



授業・アンケート等の課題分析

学び合いを通して、自分の考えを広げ深めることができている（当てはまる、まあまあ当てはまる：21名）（回答21名中）

一方で、「学ぶ楽しさ」を感じるという項目では、あまり当てはまらないと2名が回答している。



成果と課題

成果

- 実験・観察では、安全に配慮しながら、各自が責任をもって実験に取り組むことができた。
- 単元「宇宙を観る」では、フィールドワークやタブレットの積極的な活用で、天体の動きを時間的・空間的な広がりをもたせる指導を行った。
- 毎回の実験・観察レポートでは、必ず結果・わかったこと（考察）・感想を記入し、それに対する指導を継続して行ってきた。
- 人に説明する場面を多く取り入れ、「学び合い」を通して理解を深める工夫を行ってきた。

課題

- 今後も、ねらい・流れの提示と振り返りを徹底し、学習内容を振り返る時間を十分に確保する。
- 規則性や原理などが日常生活や社会で活用されていることにも触れる。また、単元ごとの振り返りで、各自が興味・関心をもったことなどを探究し、「学ぶ楽しさ」を実感できるような場面を設定する。